

(2) トリガー戦略

トリガー戦略は、羽田空港の再拡張・国際化、川崎港の機能強化などの基幹となる交通拠点の拡充や羽田連絡道路、東扇島水江町線、殿町夜光線延伸などの幹線交通網の構想・計画を踏まえ、臨海部の新たな展開を先導する地区やエリア（戦略拠点、重点整備地区及びサポートエリア）を設定し、その整備・充実を図り、臨海部の活性化を実現しようとするものである。

- 《戦略拠点》 交通網の結節点に位置し、大規模な土地利用転換が見込まれる、**殿町3丁目地区**と**浜川崎駅周辺地区**を臨海部の新たな展開を先導する戦略拠点として位置づける。
- 《重点整備地区》 公有地を中心に大規模な土地利用転換が見込まれ、東扇島水江町線の整備が計画されている**水江地区**を重点整備地区に位置付ける。
- 《サポートエリア》 戦略拠点、重点整備地区を支援・補完するエリアとして、**塩浜地区**、**産業道路駅周辺地区**、**浮島地先**、**多摩川リバーサイド地区**、**大師ジャンクション**をサポートエリアに設定する。

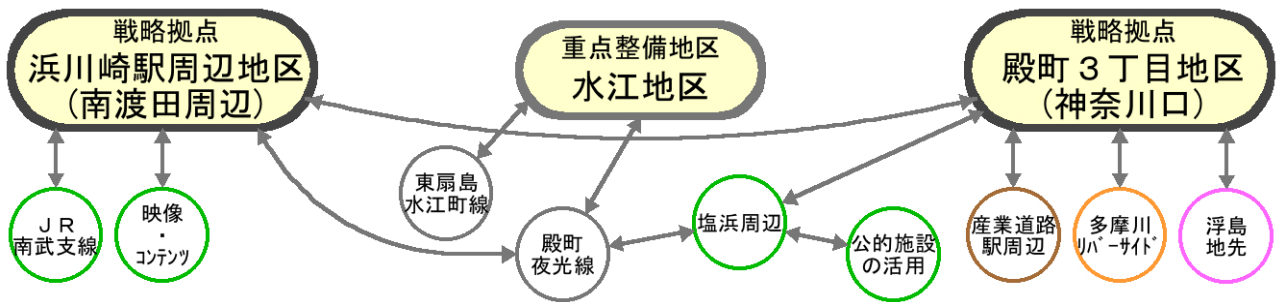
これらの地区やエリアを有機的に連携させ、さらに既存の産業地帯との連携を深めることにより、臨海部の活性化に向けたトリガーとする。

対象地域



ア 戦略拠点及び重点整備地区

臨海部の新たな展開を先導する戦略拠点として殿町3丁目地区と浜川崎駅周辺地区を、重点整備地区として水江地区を位置付け、整備の基本方向を以下に示す。



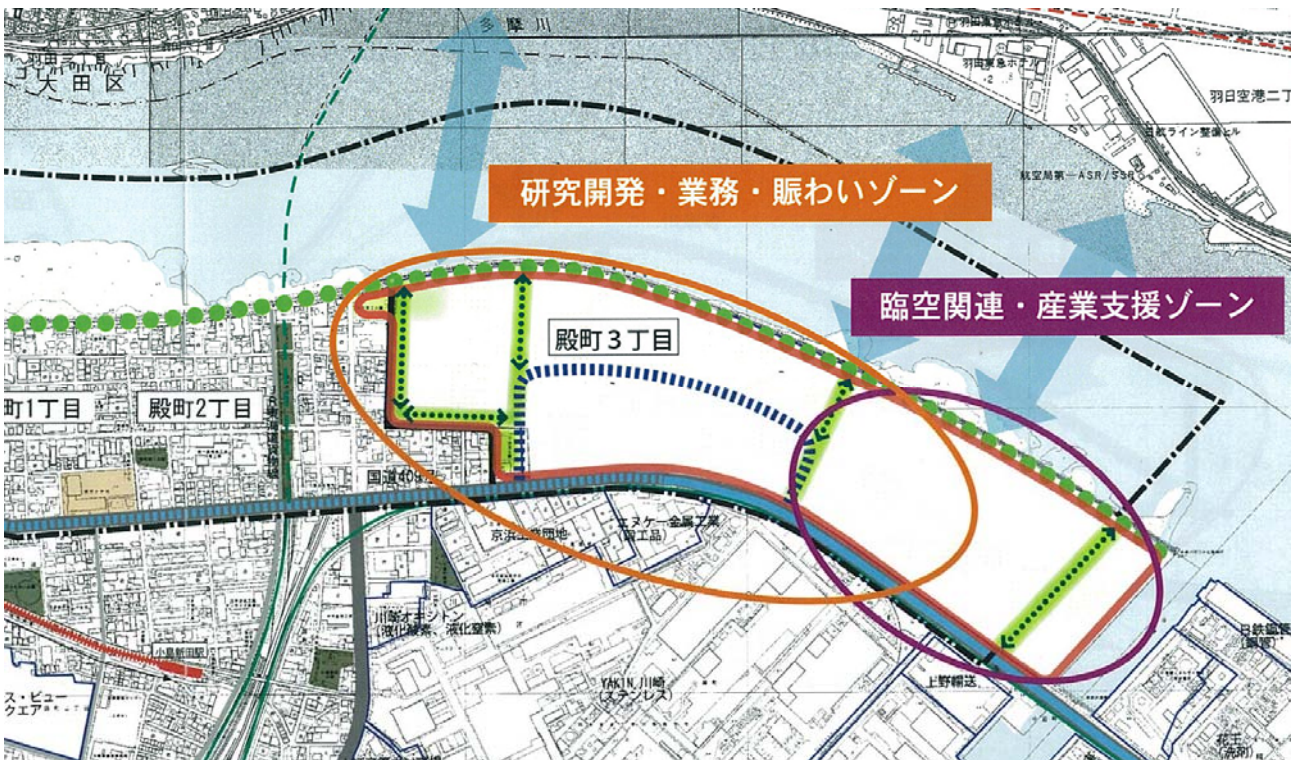
①戦略拠点：殿町3丁目地区（約40ha）

○羽田空港の対岸に位置する殿町3丁目地区は、大規模工場跡地を中心とした区域であり、2010年の羽田空港再拡張・国際化の効果を神奈川側に波及させる神奈川口構想の中核として、臨海部の発展を先導

○羽田空港再拡張・国際化のポテンシャルを十分に活かした複合拠点の形成

○研究開発・業務機能、商業・業務・レクリエーション・賑わい交流機能、臨空関連・物流（流通加工）・産業支援機能などを主体とした拠点と新しい玄関口の形成

殿町3丁目地区

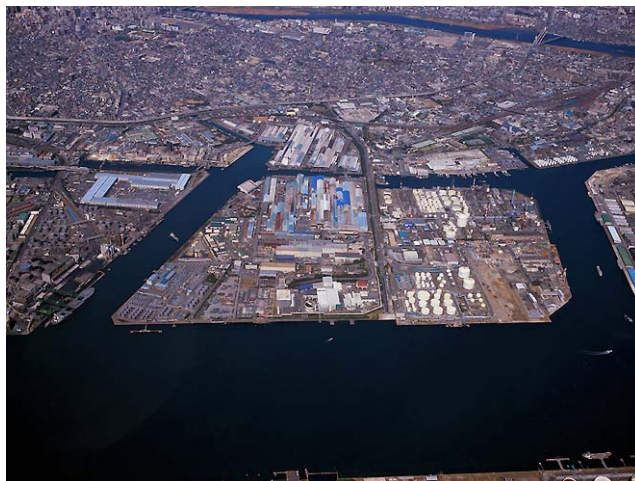


②戦略拠点：浜川崎駅周辺地区（約104ha）

- 重厚長大産業をはじめとする広域的な工場地帯である京浜臨海部の中ほどに位置しており、工場跡地等の土地利用転換により、研究開発機能を中心とした複合市街地を先行的に形成
- 環境・安全・エネルギー等の研究開発拠点の形成と循環型社会実現のための産業、業務、情報機能等の導入
- 小田栄地区 研究開発拠点に隣接する商業・業務、都市型住宅等の複合市街地の形成

③重点整備地区：水江地区（約6ha：公共用地部分）

- 既存産業の高度化・複合化などに資する高度な先端技術分野の産業や研究開発機関等の集積を促進し、その効果を臨海部全域に波及
- 環境負荷低減への取組を地区全体で実践し、先導的役割を担う地域として形成



イ サポートエリア

戦略拠点、重点整備地区を支援・補完するエリアとして以下のサポートエリアを設定する。

塩浜地区	<ul style="list-style-type: none">・ 戦略拠点間を中継するエリア・ ロジスティクスのメンテナンス、レスト機能など交通面や臨海部に不足する緑・アメニティなどをサポート
産業道路駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none">・ 交通結節点として、戦略拠点・羽田空港・臨海部などに対する公共交通網をサポート
浮島地先	<ul style="list-style-type: none">・ 高速道路網を中心とする広域交通の結節点・ 産業地帯を支えるバッファエリア等としてサポート
多摩川リバーサイド地区	<ul style="list-style-type: none">・ 職住近接の魅力ある住宅供給により既存産業の高度化を支援・ 多摩川へのアクセスの向上、遊歩道・親水空間の整備により地域環境を向上
大師ジャンクション	<ul style="list-style-type: none">・ 道路交通の結節点として、臨海部の交通利便性の向上に寄与・ 道路交通の結節点にふさわしい機能の導入



(3) テーマ戦略

臨海部における「目標とする理念」のもと、整備に向けた6つの基本方向を定め、これに基づきガイドドラインを策定し、土地利用を誘導することとした。

テーマ戦略は、この6つの基本方向に対応したテーマからなっている。

エリア戦略が各地区で実現しようとする誘導目標を示すのに対し、テーマ戦略は、基本方向に沿って、テーマ毎に臨海部全体をどのように誘導していくかを示すもので、各エリア・地区の地理的要因や関係性を踏まえながら、これを有機的に関係させ、「目標とする理念」の実現を目指すものである。

6つの基本方向とテーマ

- | | | |
|---------------------------|---|-------------|
| 1 持続可能な産業地帯としての活性化を図る | ➡ | ①産業の活性化 |
| 2 交通環境の改善を進める | ➡ | ②交通環境 |
| 3 地球環境・エネルギー問題の解決に貢献する | ➡ | ③地球環境・エネルギー |
| 4 地域環境の改善、防災力の向上、緑地の増加を図る | ➡ | ④地域環境・防災・緑 |
| 5 新しい文化の発信源となる | ➡ | ⑤文化の発信 |
| 6 後背地との共生を築く | ➡ | ⑥後背地との共生 |

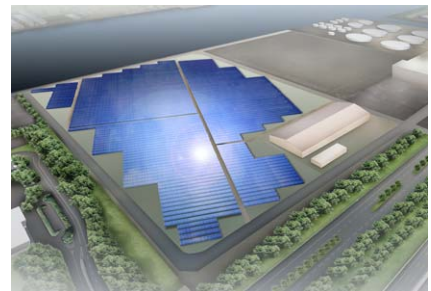
①産業の活性化



②交通環境



③地球環境・エネルギー



④地域環境・防災・緑

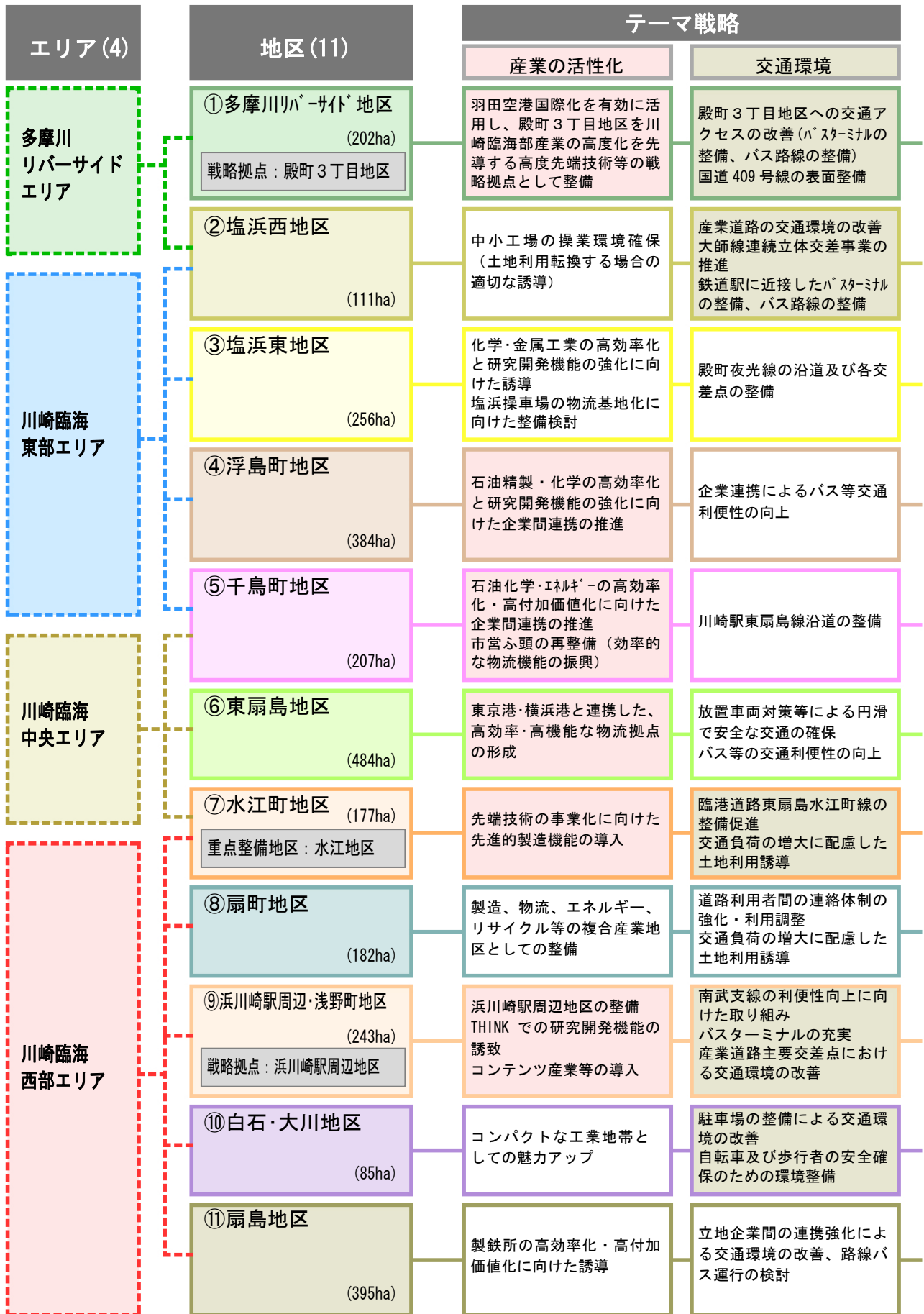


⑤文化の発信



⑥後背地との共生





テーマ戦略

地球環境・エネルギー	地域環境・防災・緑	文化の発信	後背地との共生
環境技術の情報発信拠点における新エネルギー・省エネルギー事業の展開	多摩川リバーサイドの立地特性を活かしたアメニティ豊かな水と緑の軸の形成	工場見学など産業観光の推進 川崎大師、河港水門をはじめとする地域の魅力発信 水と緑の軸となる多摩川へのアクセラートの確保	川崎大師をはじめとする地域の魅力発信 職住が近接、多世代が交流する魅力的住宅地としての更新誘導 羽田空港との近接性を活かしたまちづくりの誘導
アイドリングストップなどの展開によるエコドライブの推進	産業道路沿道の環境改善 臨海部の防災拠点としての消防署の機能強化	地域住民と連携した地域文化の発掘、発信	住工共存型の複合市街地としての魅力向上
貨物鉄道網を活かしたモデルシフトの検討 未利用エネルギーの有効活用 (火力発電所の蒸気を周辺事業所に供給)	殿町夜光線の沿道環境改善 公的施設の再整備に併せた地域環境の改善 内奥運河沿いの環境整備、水と緑のネットワークの形成	工場見学など産業観光の推進	公的施設の再整備に併せた市民福祉の向上
新エネルギーの導入促進と普及・PR(太陽光発電の新システムメガワットソーラーの整備と普及・PR 施設の設定)	既存緑地のアメニティ向上 多摩川沿いの環境整備、ネットワーク化 各事業所における液状化対策の推進	工場見学など産業観光の推進 魅力的な夜景などの情報発信	公園の利便性向上による市民との共生
未利用エネルギーの有効活用 (火力発電所の蒸気を周辺事業所に供給)	川崎駅東扇島線沿道の整備 既存緑地のアメニティ向上 市営ふ頭における耐震岸壁の整備 各事業所における液状化対策の推進	工場見学など産業観光の推進 魅力的な夜景などの情報発信 「デザインコンベ」の実施等による臨海部の魅力発信	公園の利便性向上による市民との共生
施設の更新と連携した省エネルギーの推進	東公園・西公園等を活用したアメニティの向上 基幹的広域防災拠点の充実 耐震岸壁の活用による防災機能の強化	東公園・西公園等の魅力の向上 川崎マリエンの利用向上 (展望室、テニスコート等)	交通利便性の向上による就業環境の改善 身近なレクリエーションの場としての魅力発信
新エネルギーの導入促進 省エネルギーの推進 未利用エネルギーの有効活用 蓄電システムの開発・製造促進	小公園・緑地の整備、幹線道路沿道の整備、ネットワーク化 各事業所における液状化対策の推進	ゼロエミッション工業団地など立地企業の環境技術等の紹介、情報発信 工場見学など産業観光の推進	公園の利便性向上による市民との共生
新エネルギーの導入促進 (天然ガス、バイオマス発電所)	小公園・緑地の再整備、有効活用 幹線道路沿道の整備、ネットワーク化 各事業所における液状化対策の推進	立地している多様な企業・工場の紹介、情報発信 工場見学など産業観光の推進	事業者と市民の地域活動への協働の取組、地域交流による共生
廃棄物の有効活用などによる省エネルギーの推進	小公園・緑地の整備 幹線道路沿道の整備、ネットワーク化	THINK での新しい文化の発信 「映像のまちかわさき」の情報発信 コリアタウン、アウマンの家をはじめとする地域の魅力発信	後背地の住宅市街地との共生 魅力的な住宅・住環境(環境、公園・緑地、レクリエーション、文化等)の整備
新技術の活用による省エネルギーの推進	小公園・緑地の再整備、有効活用 幹線道路沿道の整備、ネットワーク化 各事業所における液状化対策の推進	立地している多様な中小企業の紹介、情報発信	公園の利便性向上による市民との共生
環境面で世界最先端に位置する製鉄所情報の発信 (新型シャフト炉の建設) 新エネルギーの導入促進 風力発電設備の整備	既存緑地の有効活用	世界最先端の製鉄所情報の発信 工場見学など産業観光の推進	